

「小田原市駐車場整備計画（案）」及び「小田原市自転車等の駐車対策に関する総合計画（案）」に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	「小田原市駐車場整備計画」及び「小田原市自転車等の駐車対策に関する総合計画」の策定
政策等の案の公表の日	平成27年1月28日（水）
意見提出期間	平成27年1月28日（水）から平成27年2月26日（木）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	9件（8人）
インターネット	7人
ファクシミリ	1人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

総括表

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	3
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	4
C	今後の検討のために参考とするもの	2
D	その他（質問など）	0

具体的な内容

(1) 両計画の背景と目的に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	両計画の背景と目的をわかりやすく表現してほしい。	A	意見のとおり、両計画の背景と目的について、わかりやすい表現、簡潔な記載に修正を行います。

(2) 両計画の課題、基本方針、基本施策に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	両計画の課題、基本方針、基本施策をわかりやすく表現してほしい。	A	意見のとおり、両計画の課題、基本方針、基本施策について、わかりやすい表現、簡潔な記載に修正を行います。

(3) 両計画に関するヒアリング結果に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	ヒアリング結果について、主な意見をもう少しわかりやすくしてほしい。	A	意見のとおり、両計画のヒアリング結果について、わかりやすい表現に修正を行います。

(4) 附置義務条例等の見直しに関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	駐車場整備計画に賛成する。 特に駐車場附置義務の緩和は、今後の中心市街地の活性化のためには絶対に必要な施策である。	B	まちなか居住の推進や低層階への商業立地に資する民間開発の誘導など、各種まちづくりの計画とも整合を図り、駐車場が充足している状況を踏まえ、附置義務条例等の見直しを予定しています。
2	既存の駐車場附置義務条例は、建築物の敷地内に駐車場を設けなければならない、多くの場合は地下駐車場を設置することとなり、多額の建設コストがかかり、開発が進まない。 中心市街地の活性化を考えるとマンション等の開発による定住人口の増加が必要であるが、駅周辺に住む方にとって、車は必ずしも必要ではない。 建築物の1階部分は商業利用が望ましく、1階部分が駐車場になった場合、回遊性の低下など活性化を阻害する。 現在、例外規定とされている隔地駐車場を原則化するなどの条例改正を速やかに実施してほしい。		

3	5階建て以上の建物に駐車場をつくらないで、1階に店舗などがある方が街が明るくなり、歩くのが楽しくなると思う。	B	駐車場が充足している状況を踏まえ、附置義務条例等の見直しなどにより、魅力ある歩いて楽しいまちづくりを進める考えです。
---	--	---	--

(5) 歩いて暮らせるまちづくりの実現を目指した取り組みに関すること

	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方(政策案との差異を含む。)
1	小田原駅近くに集約した大型駐車場ができることに賛成である。 駅周辺の混み合う場所ではなく少し離れた場所にも大型駐車場があれば、来訪者にとって場所がわかりやすく、小田原に立ち寄りやすくなると思う。	B	フリンジ駐車場やパークアンドライド等、歩いて楽しいウォーキングタウン小田原の実現を見据えた駐車場のあり方を検討することとしています。

(6) 有料化等による使いやすい駐輪場整備に関すること

	意見の内容(要旨)	区分	市の考え方(政策案との差異を含む。)
1	国府津駅における有料化等による使いやすい駐輪場は賛成である。 タクシー及び一般車輛の送迎機能や歩行者動線機能が確保されておらず、国道1号の渋滞の要因となっている。 駐輪場整備の際は、駐輪場と駅前フラットスポットを統合し、現況の駐輪台数を確保するとともに、一般車輛及び歩行者の動線を考慮した駅前広場を望みます。	C	国府津駅周辺整備構想の策定を予定しており、国府津駅周辺の混雑解消や利便性、安全性向上のための取り組みも進めていく予定です。
2	国府津駅利用者にとって無料駐輪場は大きなメリットであり、有料化は負担となるので無料化を続けてほしい。 有料化するのであれば、その目的は、放置自転車対策なので、収益にこだわらず、月1,000円以下に設定してほしい。	C	国府津駅駐輪場は、100%近い利用率であるものの、約30%が放置自転車と推計される現状において、有料化による施設内容の充実や民間による運営委託など、利便性・安全性の向上を検討することとしています。